

公共交通に関する座談会の開催結果について

【三の丸町内会】（初）

■座談会開催

○日時等 令和 5 年 8 月 30 日（水）19 時 00 分～19 時 30 分

○場 所 三の丸町内会館

○参加者 町内会長ほか役員、班長 10 名（男性 7 名、女性 4 名）

【意見等】

- ・目的地が花輪のとき、地域乗合交通で利用できるのは毛馬内までであり、そこから路線バスを利用する認識でよい。
- ・免許返納後、徒歩で移動されている方もいる。
- ・自分でタクシーを呼んで移動されている方がいる。この場合、時間も場所も自由に選択でき、また高齢者福祉タクシー券が利用できる。
- ・まずは、現に移動手段に困っている方のほか、地域乗合交通の利用を希望する方を把握しないことには、話が先に進まないのではなかろうか。
- ・現に車で移動している本日参加の若い役員の方々にとって、この話はピンとこない部分があると思うが、車を持たない高齢者と同居の方であれば、自身が仕事等により不在の時間帯の高齢者の移動手段として、地域乗合交通が必要かどうか考えていただければよい。
- ・自治会として地域乗合交通を利用したいかどうかについて、アンケートを行い、希望者を把握する方向で進めたい。

■令和 5 年 10 月 日常の移動に関するアンケートを実施

【アンケート結果】詳細は別紙資料 1-1 参照

- ・配布数 127 世帯、回答 106 世帯（回収率 83.5%）
- ・地域乗合交通の導入に関する設問について「利用したいので導入してほしい」が 11 世帯、「今は利用しないが自治会のために導入してほしい」が 68 世帯であり、回答 106 世帯中、79 世帯（74.5%）が導入を希望する結果。

⇒アンケート結果を受け、町内会の役員会にて公共交通の在り方について検討。引き続き、地域が必要とする公共交通の導入について支援を行っていく。

【上野自治会】

■座談会開催（1 回目）

○日時等 令和 5 年 9 月 29 日（金）18 時 30 分～19 時 00 分

○場 所 上野自治会館

○参加者 自治会長ほか自治会役員 11 名（男性 8 名、女性 4 名）

【質疑・意見等】

- ・天気が良ければ歩いて買い物に行かれる方もいる。

- ・市内に地域乗合交通を実施している自治会は何力所あるか。
- ・他にも導入している自治会があったのでは。
- ・実際利用されているのは 1 人だが、他にも自動車を所有されていない方もおり、この先、いずれは免許返納などにより移動手段の確保が必要となってくる方もいる。
- ・利用者も自治会員も減少しているため、休止も視野に入れなければならない。休止後、再開の手続きはどうか。再開まで時間を要するものか。
- ・現在運行されている曜日が固定されている。利用したい日の前日に予約できた方が、利用が増えるのではないか。
- ・他の自治会と併せて実施することはできないのか。
- ・他の自治会と併せて実施した場合、赤字補填の扱いが難しい。市で負担できないか。
- ・出発地点は上野でも新田町三区でもよい。赤字補填の心配がなく、定期運行であれば利用者にとって良いのではなかろうか。
- ・現行の運行仕様は導入当初に決めたものであり、現在の利用形態に合わない部分があるかと思う。10 月 15 日敬老を祝う会には利用しそうな方が集まる機会であるため、そういった場で説明していただき、声を吸い上げていただきたい。

■座談会開催（2 回目）

○日時等 令和 5 年 10 月 15 日（日）10 時 00 分～10 時 45 分

○場 所 上野自治会館

○参加者 自治会長ほか敬老事業参加者 17 名（男性 6 名、女性 12 名）

【質疑・意見等】

- ・自治会で地域乗合交通はやめたと思っていた。
- ・私は車を持っていないので地域乗合交通は助かっている。
- ・復路の降車場所がいつも決まって同じ場所であることが不便である。自宅まで距離があり、買った荷物を持って自宅まで移動するのが容易でないため、自宅前で降りられると良い。また、私的意見だが水曜日でなく木曜日の運行だとありがたい。
- ・これから季節は冬になるので利用される方は増えるのではないか。できれば乗降場所は玄関前だとよい。
- ・買い物の帰りに、往路は利用していないうえ復路の予約をしていないが、復路の予約者と出会った場合に、一緒に乗って帰れるものか。
- ・ずいぶん前のことであるが、一緒に乗って帰ろうとしたところ、タクシー事業者より予約していない方の利用については、断られたことがある。
- ・利用者が自分一人の場合、復路の利用は自宅前まで可能か。
- ・単独利用であっても乗合利用であっても、それぞれの玄関前で降りたい。
- ・それぞれの降車地点を通っているうちに、メーターが上がったら利用料金はどうか。
- ・利用にあたっては柔軟に対応できるとよい。生活の利便性向上のため始めた事業であれば、利用しやすいほうが良い。
- ・他の自治会と連携して利用することで、利用者は増えるのではないか。隣の町内でも歩いている方もいる。
- ・アンケートを取りたい。市より準備いただきたい。

■令和5年11月 日常生活に関するアンケート実施

【アンケート結果】詳細は別紙資料 1-2 参照

- ・配布数 50 世帯、回答 33 世帯（回収率 66%）
- ・地域乗合交通についての考え方に関する設問について「利用したい」が 6 世帯、「将来的に利用したいので継続してほしい」が 23 世帯であり、回答 33 世帯中、29 世帯が継続してほしいとの結果であった。
- ・運行希望や自由記載欄については、多種多様の意見があり、全ての要望をかなえることは困難であるため取捨選択もやむを得ない。

⇒現在の利用者は 1 人であったが、今回のアンケートにより 6 名が「利用したい」との回答であり潜在的な利用者があることが伺える結果であった。アンケート結果を受け、自治会内で検討を行い、令和 6 年度は一部の時刻を変更し運行する。

【変更内容】

	変更前	変更後
行き（上野発）	10：00	9：30
帰り（いとく発）	12：00	11：30
帰り（いとく発）	15：00	16：00
備考	10：00 の便の予約は 当日の 8：00 まで	9：30 の便の予約は 当日の 8：00 まで

引き続き、地域が必要とする公共交通の導入について支援を行っていく。

【大曲自治会】（初）

■座談会開催

○開催日 令和 5 年 12 月 12 日（火）10 時 30 分～11 時 30 分

○場 所 大曲集落センター

○参加者 サロン参加者 18 名（男性 8 名、女性 10 名）

【質疑・意見等】

- ・あと 3 年程で免許を返納される方も想定され、返納後の移動手段において心配である。
- ・バス路線に関して大曲地区は置いてきぼり感がある。地域としてバス利用の要望はある。
- ・活性化協議会に、公共交通空白自治会の意見を取り入れる仕組みが必要と考える。

⇒今後、自治会長などが参加される座談会へとつながることで、引き続き、地域が必要とする公共交通の導入について支援を行っていく。